



第 8 号  
編集・発行  
信州大学附属図書館  
繊維学部分館  
平成5年6月8日

▲▽▲ CONTENTS ▼▲▼

|                                      |      |     |
|--------------------------------------|------|-----|
| Library の復刊に寄せて                      | 分館長  | (1) |
| 図書紹介「日本の伝統の色見本帖」                     | 嶋崎昭典 | (3) |
| OPAC利用案内                             |      | (4) |
| 平成4年度 学生のための共同推薦図書案内                 |      | (6) |
| 分館通信(職務分担案内 図書館の数字 分館日誌<br>告知板 編集後記) |      | (7) |

Library の復刊に寄せて  
分館長 篠原 昭

“Library” が16年ぶりに復刊されることになった。大変喜ばしいことである。創刊されたのは1975年7月21日で、当時係長であった故清水重富氏の提案で発刊されたように記憶している。それがわずか2年間、7号を最後に休刊になってしまった。その事情はよくわからない。清水氏の転出もさることながら、職務多忙であったことが一番の理由であったようだ。当時は未だワープロがなく、職員が邦文タイプライターで打っていたのであるから、その労力は大変なものであったと思われる。

休刊になった翌年には機能高分子学科が新設され、その後臨時増募

に伴う学生定員の増加、大学院生の急増、そして博士後期課程の新設など、図書館利用者が大幅に増えた。そしてワープロ、図書館業務への電子計算機の導入など、全く新しい仕事に対応するための研修など、図書館職員の負担は増すばかりである。それに加えて職員の定員削減などもある。図書館の機関紙の発行まで手がまわらなかったようである。その間一部の教官からはLibrary復刊を待ち望む声がきかれたことも事実である。このような背景のもとで待つこと荏苒16年、今回の復刊になったわけであるが、その陰には清水係長とそれを支える新進の若い職員の皆様の図書館に対する強い情熱があることを忘れるわけにはゆかない。

図書館は今や大きな転換期にある。増え続ける蔵書を取納する書庫の問題、酸性紙対策、そして何よりも図書が紙に印刷されるものから、電子図書のようなものに代替されるのではないかといった問題など、図書館の内容が大きく変わろうとしている。

かつて書物は粘土版、竹帛や木簡などに書かれていた。中国の蔡倫が紙を発明し書物に革命をもたらした。粘土版や木簡と比べ格段にコンパクトになるからであった。中国で「洛陽の紙価を高める」という言葉が出たのは蔡倫の紙の発明後、それほどたっていない晋の時代である。紙に印刷して綴じた書物が普及するのがいかに速かったかがわかる。唐の時代になると「汗牛充棟」という言葉が出てくる。蔵書の多いことの形容に使われる。荷車に蔵書を積んで牛に引かせると牛が汗をかき、建物にいれると天井まで本で一杯になるというのである。いま日本の大学の図書館でも個人の書斎でも汗牛充棟して本に埋まっている。これを解決するには紙に印刷する書物に代わるものの出現に期待するしかないと思っている。図書の2千年来の大革命の時代が進行中である。そんな多忙な時期に復刊に踏み切られた関係者の御努力に敬意を表するとともに、いつまでも続刊されることをのぞんでいる。

## 図書紹介

「日本の伝統の色見本帖 日本の色と紋様」

監修・浦野理一 / 責任編集・浦野範雄

毎日新聞社 平成4年1月10日刊

嶋崎 昭典

色はむかしから「いろは句へど散りぬるを」とか、種々様々なことを「いろいろ」というように多様で変化するものの代名詞のように使われてきました。それだけに、色には青朽葉・二藍・錆朱・韓紅花といった様々な名が付けられその数は二千種を超えるといわれています。『枕草子』や『源氏物語』といった文学の世界に彩りを与えてきた、また日本人の見立ての美学ともいえる色名も、その色は移ろい易く、人の心も時と共に変るので、いまでは時代に取り残された感があります。

浦野理一・範雄父子編集のこの本は江戸から明治・大正にわたる文学や絵画・染め織りの世界に記された色名と色彩三百種を、縮緬地に忠実に再現し、その姿を現代に具象化した貴重な見本帖です。北原白秋の『城ヶ島の雨』は初冬とばかり思っていたが「利休鼠の雨が降る」の利休鼠は緑が霧にかすんだ色であるのに驚ろきました。田山花袋の『蒲団』をこの見本帖片手に読み返したくなりました。

このごろは色彩も背番号化され、色合せもコンピュータ任せになり、捕え所のなかった色彩の世界も科学技術で律されるようになりました。が、理一父子が示す色の世界には侘・寂に通ずるものがあり、日本人の感性を考えるうえで一見すべき本と思います。

なお同書には『日本の色』と『江戸の紋様』の二冊の本が備えられています。古代から色彩が日本人の心にどうかかわってきたか。また紋様は、風景や身の生活用具を抽象化し図案化する江戸の洒脱と文化の粹を垣間見せる、そんな楽しみを与える本です。

(繊維システム工学科)

当館開架室1階・大型図書コーナーにあります。ご利用ください。

## オンライン検索システム OPACのご案内

OPAC ( Online Public Access Catalog ) とは、カード目録に代わって全学の所蔵資料とその所蔵場所をオンラインで提供する検索システムです。

OPACコーナーに利用者端末2台がマニュアルとともに用意されていますのでご利用下さい。

### 《サービス時間》

本学総合情報処理センター松本分室のコンピュータへ接続可能な時間であればいつでも利用できますが、図書館設置の利用者端末の利用は、月曜日～金曜日の9時～17時に限ります。

### 《検索できる資料の範囲》

図書・・・繊維学部所蔵分は1991年以降受入分です。

中央図書館、多分館の図書も検索できます。

雑誌・・・全学 和雑誌 1989年11月現在  
洋雑誌 1992年11月現在

### 《使い方の概略》

最初にメニューでコマンド型か誘導型のどちらかを選択します。

コマンド型は、キーワードを組合わせて検索する方法で、きめ細かな検索が可能ですので使い方に慣れた方には便利です。

誘導型は、コマンドを必要とせず端末に表示される指示に従いキーワードを入力して検索する方法で初心者には便利です。

ここでは、コマンド型の簡単な検索例をご紹介します。

(検索例) ☞ うろおぼえなのだが、[たけうちひとし]という人が書いた「あいまい発想・・・」という本が信州大学にあるかどうか知りたい。出版が最近であることはわかっている。

- ① [たけうちひとし]の著書を検索する。(下線部が入力する部分です)

```
TYPE IN COMMAND
1/ AUTHOR TAKEUCHI HITOSHI
   AUTHOR TAKEUCHI HITOSHI

*    92      A:TAKEUCHI
*   107      A:HITOSHI
*    6      1/ A:TAKEUCHI AND A:HITOSHI END NOSAVE ←---6件ヒットした。
```

- ② 標題中に「あいまい」という言葉が含まれている資料を検索する。

```
TYPE IN COMMAND
2/ TITLE AIMAI
   TITLE AIMAI

*    5      2/ T:AIMAI ←----- 5件ヒットした。
```

- ③ ①と②の和を検索する。

```
TYPE IN COMMAND
3/ AND 1,2
   AND 1,2

*    1      3/ 1 AND 2 ←----- 1件ヒットした。
```

- ④ 最も詳細な出力モードで表示する。

```
TYPE IN COMMAND
4/ DISPLAY M.D3
   DISPLAY M.D3
```



( 1)  
書名/著者 : あいまい発想のすすめ : フジイな頭が勝つ! / 竹内均著  
出版 : 東京 : 同文書院, 1991.7  
形態 : 261p ; 19cm  
シリーズ等 : (快樂脳叢書 ; 9)  
ISBN: 481037033X  
所蔵館室数 : 001

織・開架 ←----- 繊維学部開架閲覧室に所蔵している。  
141.6:TA67 <2810055067>

平成4年度 学生のための共同推薦図書 の案内

| (著 者 名)                           | (書 名)  | (発 行 所)            |
|-----------------------------------|--|--------------------|
| 1. 責任編集 浦野範雄<br>監修 浦野理一           | 日本の伝統色見本帖<br>日本の色と紋様   | 毎日出版社              |
| 2. 匠 秀夫 ほか                        | あなたの美術館<br>昭和の美術 全6巻   | 毎日出版社              |
| 3. 京の友禅史編集委員会                     | 京の友禅史  | 京都友禅共同組合 染色と生活社    |
| 4. S.Mahajan and<br>L.C.Kimerling | Concise encyclopedia of<br>semiconducting materials<br>and related technologies. | Pergamon<br>-Press |
| 5. J.E.Evetts                     | Concise encyclopedia of<br>magnetic and superconduct-<br>ing materials.          | Pergamon<br>-Press |
| 6. 高橋 清 ほか                        | センサの事典   | 朝倉書店               |
| 7. 日本化学会                          | 化学用語辞典   | 丸善                 |
| 8. 大木道則 ほか                        | 化学大辞典  | 東京化学同人             |
| 9. 神保元二 ほか                        | マクロ-ヒル科学技術用語大辞典<br>第2版   | 日刊工業新聞社            |
| 10. 広中平祐 ほか                       | 現代数理科学事典   | 大阪書籍               |
| 11.                               | ガス分離技術の新展開   | 東レリサーチセンター調査研究事業部  |

## 分館通信

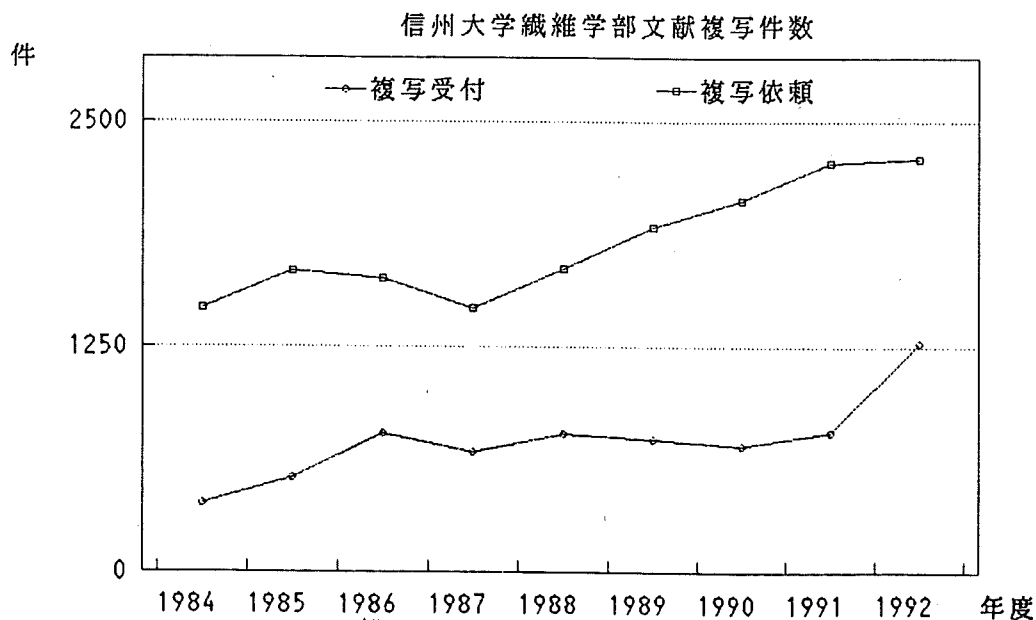
### □ 平成5年度 係員の職務分担のご案内

|      |   |
|------|---|
| 清水係長 | 総括  |
| 城倉眞一 | 雑誌の購入と整理・寄贈雑誌の受入・雑誌製本・別刷<br>・論文掲載料・紀要の出版と配布・複写機，製本機，<br>F a x の管理 |
| 押見智美 | 図書（書籍）の購入と整理・寄贈図書の受入  |
| 岡順子  | 文献複写・現物貸借・私費複写料   |
| 齋藤晶  | 資料の貸出・文献，図書，雑誌，F a x の引渡し・グ<br>ループ研究室の予約・カウンターでの窓口業務              |

なお、図書館の利用案内，資料の所蔵の確認は、係員全員が担当しますので、お気軽にお尋ね下さい。

### □ 図書館の数字

今号では、当館の文献複写数の推移についてお知らせします。



国立大学分，学内分の件数で  
学部内の複写，民間分は除く。

## □ 分館日誌 (4～5月)

4/1 (木) 押見、齋藤・新規採用 4/9 (金) 新入生ガイダンス  
4/16 (金) 紀要委員会 5/11 (火)～5/14 (金) 平成5年度長野地区・機関合同初任者研修－押見事務官参加  
5/14 (金) 紀要委員会 5/28 (金) 附属図書館研究会 (於・本部第1会議室)－篠原分館長、清水係長、城倉事務官出席、附属図書館検討委員会 (於・中央館会議室)－清水係長、城倉事務官出席

## □ 告知板

図書館の玄関を入ったところにショーケースがあるのをご存じですか？現在は、篠原昭教授に解説していただいた「Theory of sound」が展示してあります。是非ご覧下さい。

## □ 編集後記

巻頭に篠原昭分館長のお言葉を、図書紹介コーナーには嶋崎昭典教授の書評をいただいて、Libraryが15年の歳月を経て復刊することになりました。大学図書館はまさに図書館としての役割を模索している状態です。今後は、各方面からのお言葉を頂戴しながら、信州大学附属図書館組織維学分館としての在り方をも考えていかなければならないと思っております。その意味でもこのLibraryが、図書館と利用者とを結ぶ太い太いリボンになれば．．．と願っております。

なお、4月1日より新人が2人採用されました。この場を借りて一言述べさせていただきます。

齋藤「使いやすく、気軽に利用できる図書館にしたいです。」

押見「よりお役に立つ図書館になるよう頑張ります。」

まだまだ未熟な2人ですがよろしくお願いします。

また、次回発行は9月上旬の予定です。

皆様からの書評、ご意見などお待ちいたしております。原稿等についての問い合わせはお近くの図書館員にお申しつけください。 ■